

# 未来を見据えた躍動の年

新年おめでとうございます。市民の皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

令和4年は、7年に一度の諏訪大社御柱祭の年でありました。4月の大社山出しは、新型コロナウイルス感染症防止対策として、御柱祭の歴史上初となる車両による運搬で実施されましたが、5月の大社里曳き、秋の各地域における小宮祭は、感染防止対策のもと、多くの氏子の皆様が参加する中で実施され、長く続くコロナ禍にあっても、少しずつ地域に活気が戻ってきたことを大変喜ばしく感じました。

また、昨年、本市における人口動態のうち、転入、転出及びその他の増減に伴う人口の動きを示す社会動態の人数が、4月から10月まで7か月連続で増加しており、力を入れて取り組んでいる岡谷市と多様な関わりを持つ関係・交流人口の創出・拡大や、本市への移住・定住の促進の手応えを感じております。

このような中、本市が持つ独自の強みや特色を活かした各種事業を積極的に展開し、令和3年8月大

雨災害からの復旧・復興、土砂災害における避難情報の発令判断基準の見直し、今井上向配水池の竣工、「2050年岡谷市ゼロカーボンシティ宣言」の発出、岡谷市LINE公式アカウントの運用開始など情報発信手段の充実、岡谷シルクブランド認証制度の創設、「おかや生活応援プレミアム商品券」の販売など、多くの事業を確実に実施することができた年ともなりました。

このことは、市民の皆様をはじめ、これまでに関係された全ての皆様のご理解、ご協力とご尽力の賜物であり、深く感謝を申し上げます。4月から始まる令和5年度は、第5次岡谷市総合計画 前期基本計画によるまちづくりの最終年となります。

前期5年間の総仕上げの年として、「未来を見据えた躍動の年」と位置付け、計画に掲げる目標の達成に向けた取り組みを確実に進めるとともに、後期基本計画がスタートする令和6年度からの5年間で見据えた効果的な取り組みに積極的に投資をすることにより、将来都市像に掲げる「人結び夢と希望を紡ぐたくましいまち岡谷」の実現に

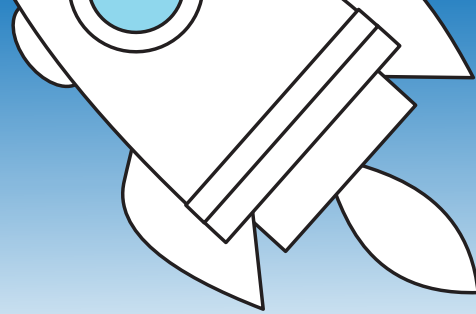
向けて、加速度を上げて前進してまいります。

新型コロナウイルス感染症、国際情勢に伴う原油価格・物価高騰や円安など、先行きを見通すことが難しい状況が続いております。

このような状況にあっても、市民の皆様とともに、未来を見据えて躍動していくという強い思いを持ち、ウイズコロナ・ポストコロナの新しい時代に対応しながら、誰もが安心して、夢と希望を持って暮らすことができ、いつまでも住み続けたい、住んでみたいと思える魅力あるまちづくりを推進するとともに、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人々、また、これから生まれてくる子どもたちが豊かさと幸せを実感できる、満足度の高い岡谷市を創り上げてまいります。迎えました令和5年が、岡谷市がますます飛躍・発展する年となるとともに、市民の皆様が健康で活躍されますことを心からお祈り申し上げます、新年のあいさついたします。

令和5年 元旦

岡谷市長 今井 竜五



特集 　ものづくりのまち 　おかや



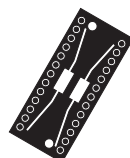
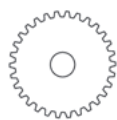
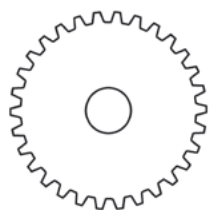
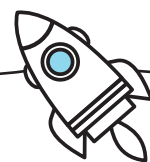
D  
N  
A

の

ものづくり

つないでいく

「ものづくりのまち おかや」…時代をさかのぼれば、一万年以上昔。おかやは、太古の時代の「黒曜石の加工」に始まり、明治から昭和初期にかけて製糸業で栄え、世界一の生糸生産量を誇り「シルク岡谷」として、その名を世界にはせ、わが国の近代化に大きく貢献しました。その後、製糸業から、精密機械産業へ発展し、「東洋のスイス」と言われた時代を切り拓いた先人がつくり上げた精密機械の技術は、数々の製品の部品として生き続け、今なお世界から求められ続けています。そして、この太古から続く「ものづくりのDNA」は、SUWA小型ロケットプロジェクトとして、夢を大空に打ち上げました。脈々と続く、このDNAを受け継いだ「小さな発明王」たちが、先人の後を追う日も近くやってくることでしょう。



## ものづくりチャレンジ 企業応援事業補助金

市では、「技術開発・新製品」に挑戦する  
中小企業を支援しています！

新たなものづくりにチャレンジするため、中小企業者  
またはその企業グループが行う「技術の研究開発」、「新  
製品の開発」に要する経費に対して補助金を交付してい  
ます。（産・学・官の連携も含まれます。）

昭和54年より続いているこの制度を利用して、数多  
くの新製品や新技術が誕生し、社会の役に立っています。

補助金のくわしい情報はコチラ！



チャレンジする企業。  
応援する岡谷。



## 実際に開発された製品と それを生み出した開発者の声を紹介します

### 幅広い企業の「コスト削減」

「テープを正確に速く貼る」という  
意外とかがってしまいう人件費を節約  
することができ、またユニット化す

さらには要望の多かった曲面への貼り  
付けに挑戦しました。開発は受注生  
産と異なり、事前のコストがかかる  
ため躊躇しがちですが、補助金で費  
用の半分を負担していただけること  
で開発に踏み切れ、曲面と平面両方  
に貼ることができる汎用性のある製  
品を作ることができました。

### 平面貼から 曲面への挑戦

少数でも、  
「世に必ず必要とされる技術」  
を見つけ出した“発見力”

■ マルゴ工業株式会社

「円筒貼り対応テープ貼り装置」

近年のものづくりに欠かせない「テー  
プ貼り」の装置を発展させ、**曲面へ**  
の貼り付け技術を開発。



◀円筒貼り対応  
テープ貼り装置

▼開発チーム：  
（左上から）  
丸山剛さん  
小池孝司さん  
山岡正幸さん  
（左下から）  
山本秀和さん  
今井大志さん

「どういうものを作ったらいいか、  
お客さまが教えてくれる」という想  
いで取り組んでいます。自分たちの  
考えだけでなく、さまざまな角度か  
ら世の中に必要とされる製品をひ  
つでも多く生み出せるような「もの  
づくり」をしていきたい。さらに、  
これらを発展させ自分たちにしかで  
きないオリジナルブランドの確立を  
めざしていきます。

「どういうものを作ったらいいか、  
お客さまが教えてくれる」という想  
いで取り組んでいます。自分たちの  
考えだけでなく、さまざまな角度か  
ら世の中に必要とされる製品をひ  
つでも多く生み出せるような「もの  
づくり」をしていきたい。さらに、  
これらを発展させ自分たちにしかで  
きないオリジナルブランドの確立を  
めざしていきます。



代表取締役  
山岡 俊幸さん



## ITと、ものづくり技術の融合 「工業で農業を後押し！」 “産・学・官の連携力”

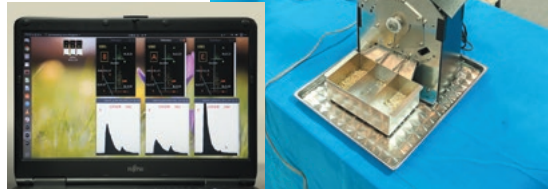
■インダストリーネットワーク株式会社  
「穀物や種子を非破壊で品質ごとに自動選別する卓上型実用機」

コメ、ソバなど多種多様な大きさの粒に対応、破壊せずに成分分析が可能。



▶選別するようす

▼パソコン画面



### 農業と工業の連携

ITや工業の技術力で、農作物に付加価値をつけ、農家さんを助けたいというのが開発に踏み切ったきっかけです。もともと信州大学で進めていた研究に制御系のソフトウェアの開発として関わり、当社の持つ「ものづくり」の技術を活かし、機械の小型化と、性能を上げることに特化して開発を継承しました。

### 非破壊で高速分析 唯一無二

この装置のすごいところは、検査する穀物類を、つぶしたり、粉にせずそのまま検査できることです。レーザーの光を照射して、そこから反射した蛍光を分析するのですが、検査で選別したそのものを食べることもできます。分析結果は、高速で



CSO兼代表V監督  
伊藤 要さん



技術顧問  
福井 昭次さん

### ものづくりとIT

一粒一粒パソコンで見ることができ、調べたい項目を数字で可視化できる、唯一無二の装置です。

まずは、しっかりとしたものを作ることを大事にして、「ものづくりと農業」のように、ものづくりと何か他のものとの接点をつくっていく活動をしながら、メーカーとして製品を一つ立ち上げたいですね。さらに、製品化したものを多くの人に行き渡るシステムを考えることで、地域に貢献したいと思っています。

## 固定観念をとりはらい 「できると信じて」 “挑戦する力”

■レイクR&D株式会社  
「ハサミ型高周波処置具における送水機構の試作開発」

内視鏡手術に使う、医療用世界最小のハサミから、水が出る機構を開発。

### おかやのものづくり気質

医師の方々の意見をお聞きし、内視鏡手術で使う、さまざまな用途に応じた超小型の器具を開発しています。医療器具としての、厳しい基準をクリアした素材を使い、1ミリ以下の小さい部品を、顕微鏡で見ながら手の感覚で組み立てていきます。手の感覚で組み立てるとい技術が、まさに「おかやのものづくり気質」で、海外の大量生産の工場ではできない技だと思っています。

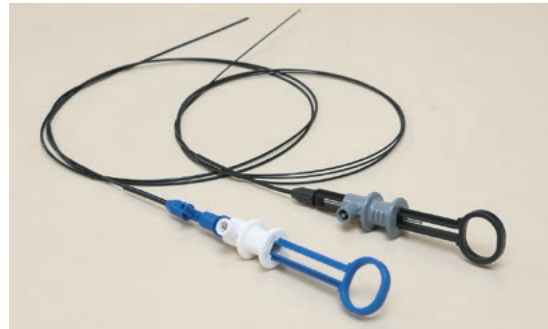
### 世界最小 1台4役

ハサミの先端から水が出ることで、従来は内視鏡手術中にその都度入れ替えていた器具が、一つで「切断・剥離・止血・洗浄」までスムーズに行うことができるようになるた



▶ハサミ先端部分

右：ハサミ型高周波処置具  
左：胆石除去処置具



め、手術時間の短縮と患者さんへの負担を軽減でき、また止血が瞬時にできるため、患者さんへの危険を低減することができます。医師の負担も減り、多くの患者さんのためにもなっていると思います。

### 人の役に立つものづくり

今回の「ハサミから水が出る機構」のように、難しい要望がほとんどですが、「人の役に立つものづくり」をするという信念のもと、固定観念を捨て、どうやったらそれを実現できるかを、日々追求しています。



会長  
西村 幸さん



代表取締役  
小口 祐二さん



# 宇宙工学への興味を！ “子どもたちの夢”に向けた ワークショップ

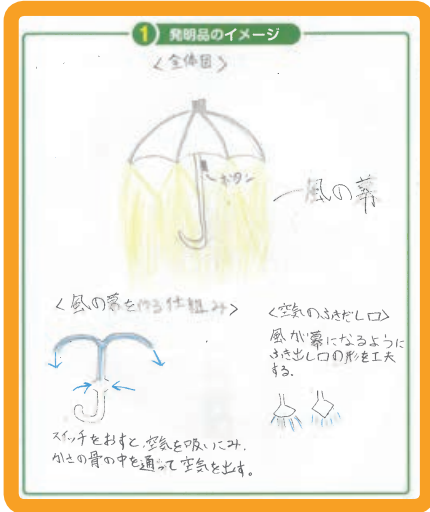
長地小  
4年生が  
体験！

子どもたちは、実験を通してロケットに使用されている材料の特徴を理解することで「ものづくり」への興味を深め、モデルロケットの打ち上げを体験し「宇宙工学」に興味を持ちました。

ロケット開発技術を通して  
ものづくりの技術を高め合う団体

SUWA小型ロケットプロジェクト

地方創生の目的で岡谷市をはじめとする、諏訪圏5市町村が信州大学に委託し実施している、ロケット好きが集まる有志の団体です。諏訪東京理科大学、JAXA、長野県工業技術総合センター、神奈川大学の支援を受けながら、小型ロケットを題材として教育研究を行い、技術の高度化に対応できる人材の育成を目的としています。



**風のかさ**  
長地小6年 中沢 蓮さん  
× 有限会社ソーユー



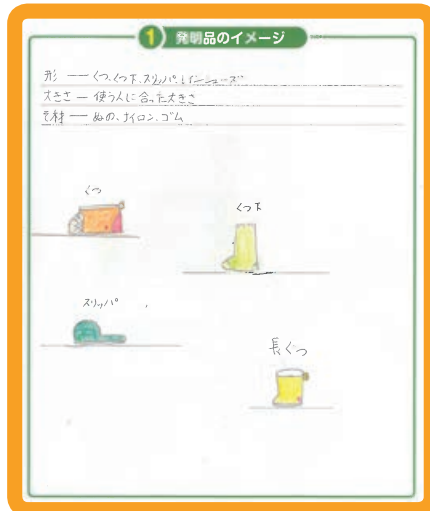
**自動努力ちよ金ロボット<Plm1>とちよ金箱<RP>**  
小井川小5年 花岡 大地さん  
× fabスペースhana\_re

▲モデルロケット

▲実物のロケットを間近に見る子どもたち



**メニューも決めてくれるお鍋**  
神明小2年 市来 あいさん  
× 信越ハーネス株式会社



**ユニバーサルシューズ**  
小井川小4年 好井 ありさん  
× エーピーエヌ株式会社



**ラクラク5秒検査キット**  
小井川小3年 寺澤 あかりさん  
× 株式会社牛越製作所

つぎは、  
ぼくたちわたしたち  
発明王にチャレンジ!



子どもたち  
× 協力企業

最終審査  
は1月!

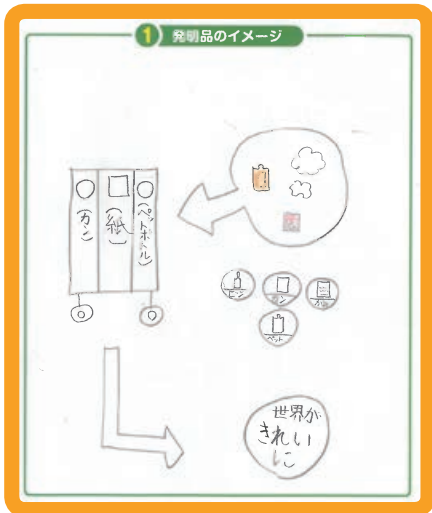
ものづくり  
OKAYAの  
発明王

君も未来の発明王を目指そう

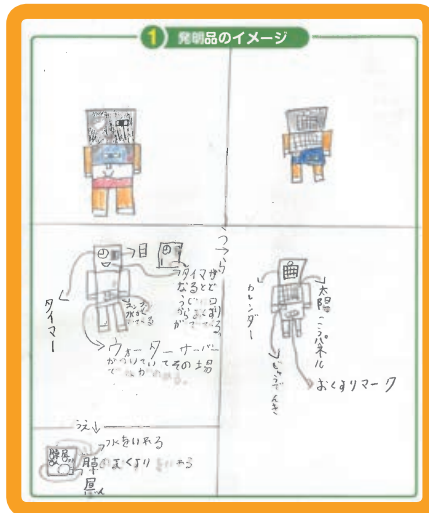


岡谷市は、全国でも有数のものづくりのまちです。ものづくりの原点は、「こんなことができたらいいな」という未来をイメージできる想像力と、「作ってみよう」「やってみよう」という行動力。市では、テクノプラザおかやの開館20周年を記念し、「ものづくりOKAYAの発明王」として、子どもたちから「発明・製品・アイデア」を募集しました。子どもたちの「オモイ」を「カタチ」に！ものづくり企業と一緒に立体作品を作りあげ、1月の最終審査に臨みます。「ものづくりおかやのDNA」がどのように受け継がれているのか、乞うご期待！子どもたちの「夢」がカタチになる「ものづくりのまち おかや」を、みんなで盛り上げていきましょう。

「ものづくりOKAYAの発明王」最終審査に残った10作品を紹介します



**動くゴミ箱**  
長地小6年 後藤 颯汰さん  
× 小野ゴム工業株式会社



**おくすりのもうロボット**  
湊小3年 花岡 陸登さん  
× 株式会社諏訪機械製作所



**おまもりキーホルダー**  
長地小3年 大久保 知怜さん  
× 株式会社ダイヤ精機製作所



**情報まるわかりパット**  
神明小4年 黒岩 和花さん  
× 株式会社平出精密



**ふわふわことばせんせい**  
神明小1年 黒畑 恵玲杏さん  
× 株式会社ケーテック

2/4  
Sat.

ものづくりフェア  
開催!

「ものづくりOKAYAの発明王」の応募作品と最終審査に残った10作品の立体作品を展示します。  
詳細は巻末P32へ

問合せ  
工業振興課  
21-7000